

## 「絵本と防災のおやこ FES」にブース出展

～ぼうさい探検隊の紹介や親子防災カード作りを実施～

日本損害保険協会中部支部（委員長：渡辺一奈・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員）は、11月28日（金）に愛知県知立市のパティオ池鯉附で開催された「絵本と防災のおやこ FES～防災ママカフェ in 知立 2025～」の第二部にブース出展しました。

絵本と防災のおやこ FES は、子育て世代の女性を中心に活動する市民団体「防災ママかきつばた」が主催したイベントで、「大地震！その時、あなたは子どもを守れますか？」をコンセプトに、第一部として防災ママカフェ、第二部として絵本と防災のワークショップが開かれました。

第一部の防災ママカフェでは、（一社）スマートサプライビジョン特別講師のかもんまゆ氏から、東北・熊本の巨大地震を経験したママたちの“生の声”を基に「あの日何が起きたのか」、「どうやって子どもを守ったのか」、「今、ママとして何をすればいいのか」について講義がありました。

第二部の絵本と防災のワークショップでは、おやこ防災絵本「ちきゅうくんのくしゃみ」の読み聞かせや、様々な団体の出展ブースで工作や防災相談会が実施されました。

当支部が出展したブースでは、ぼうさい探検隊の紹介や、防災カードを作るワークショップを実施しました。来場者からは、「災害時は携帯の充電ができず家族の電話番号を確認できない可能性がある。防災カードがあると大人も子供も安心。」「家族みんなの分を作つて普段使っているかばんに入れておきたい。」といったコメントがありました。

当支部では、親子や地域の防災力向上を図るため、今後も積極的な啓発活動を行ってまいります。

### 「ぼうさい探検隊」

防災教育の取組みの一環として、子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラム。2004年度から実施し、2025年度で第22回。自治体や行政等への提言により実際に危険箇所が改善された事例もあり、地域防災力向上の一助になっている。



＜防災ママカフェの様子＞



＜当支部ブースの様子（防災カード作成）＞